

授業科目:心の働きと行動	講師名: 須磨知美	1 単位 30 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 人間の行動と心の働きの理論を学び、環境に適応しながら生活している人間を多視点からとらえて理解する。 リフレクションとはどういうものかを知り、人の自律的成長に効果があるとわかる。		
回数	講義内容	学習方法
1	オリエンテーション:心理学とは	講義
2	物理的(外的)環境と心理的(内的)環境	講義
3	知覚、認知:感覚モダリティ、知覚の恒常性	講義
4	記憶:記憶システム、長期記憶、短期記憶	講義
5	学習:古典的条件付け	講義
6	学習:オペラント条件付け	講義
7	学習:応用分析、行動変容	講義
8	認知と感情	講義
9	認知学習:リフレクション、メタ認知、自己調整学習	講義
10	感情の働きと脳	講義
11	動機付け:内発的動機付け、外発的動機付け	講義
12	性格:パーソナリティと個人差	講義
13	発達と心の成長:ライフサイクル	講義
14	まとめ:人間を多視点で理解する	講義
15	終講試験	
【教科書】 系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院		
【参考書】 特に使用しない。		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:人間関係のもと	講師名: 森下 朝日	1 単位 30 時間 履修時期 1年生前期
【科目目標】 看護に必要な人間関係を発達させるためコミュニケーション技術を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	自己の成り立ち	講義・自己分析
2	対人認知(1)印象形成と対人コミュニケーション①	講義
3	対人認知(1)印象形成と対人コミュニケーション②	GW
4	対人認知(2)印象形成で生じるバイアス①	講義
5	対人認知(2)印象形成で生じるバイアス②	GW
6	心の発達とライフサイクル論①	講義・自己分析
7	心の発達とライフサイクル論②	VTR視聴
8	自己開示とフィードバック①	講義・自己分析
9	自己開示とフィードバック②	GW
10	対人葛藤とその解決①	講義
11	対人葛藤とその解決②	GW
12	受容的コミュニケーション(1)傾聴の大切さ①	講義
13	受容的コミュニケーション(1)傾聴の大切さ②	GW
14	受容的コミュニケーション(2)共感的理解①②	講義
15	終講試験	
【教科書】 プリントを配布します		
【参考書】 「図解雑学 任兼関係の心理学」斎藤学著 ナツメ社 「人間関係づくりトレーニング」星野欣生著 金子書房		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD		
【評価方法】 授業中に提出するミニレポートと筆記試験によって総合的に判断します 合計100点		

授業科目:生活と文化	講師名:土取 俊輝	1 単位 30 時間	履修時期 2年生後期
【科目目標】 様々な国・地域の生活や文化の諸現象をとおして、人間をたらしめている文化の多様性や普遍性を学び、人間の理解を深める。			
	講義内容	学習方法	
1	イントロダクション	講義	
2	「文化を考える」とはどういうことか	講義	
3	民族誌:「文化を書く」ことにどのような問題があるのか	講義	
4	生業:人間が生きるための営み	講義	
5	人種と民族:本当に確かなものなのか	講義	
6	家族:血のつながりは必要なのか	講義	
7	環境と自然:人間を取り巻くもの	講義	
8	ジェンダーとセクシュアリティ:「性」とは何か	講義	
9	宗教:宗教と社会の関わり	講義	
10	呪術:呪術が信じられている社会とはどのようなものか	講義	
11	儀礼と象徴:我々は何故結婚式や成人式を行うのか	講義	
12	医療:医療と文化にはどのような関係があるか	講義	
13	交換と経済:経済とはお金のやり取りだけなのか	講義	
14	非一人間の人類学:人間とモノ・動物の関係	講義	
15	終講試験 まとめ		
【教科書】 特になし			
【参考書】 特になし。 講義内容に関する文献を講義中に紹介する			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター、DVD			
【評価方法】 筆記試験:100点			

授業科目:発達心理と教育	講師名: 熊倉 崇裕	1 単位 30 時間 履修時期 2年生通年
【科目目標】 教育の原理と人間形成における教育の機能を学び、看護における教育活動の基礎とする。		
回数	講義内容	学習方法
1	教育とは何か	講義
2	ポストモダンについて	講義
3	効率的な学習法について	講義
4	教育哲学	講義
5	コミュニケーションとしての教育	講義
6	「ケア」を考える	講義
7	いじめをなくす社会を目指すには	講義
8	不登校をなくす社会を目指すには	講義
9	家庭教育について	講義
10	教育をもう一度看護の立場から考え直す。	講義
11	生涯教育について	講義
12	教育学と心理学と看護	講義
13	発達凸凹について	講義
14	仕事と教育 デスエデュケーション 死の準備教育について	講義
15	終講試験 まとめ	講義
【教科書】 系統看護学講座 基礎分野 教育学 医学書院		
【参考書】 特に使用しません		
【使用予定視聴覚機材】 特に使用しません		
【評価方法】 筆記試験:100点		

授業科目:医療と英語	講師名: ウォルフス・ベンヤミン	1 単位 30 時間 履修時期 3年生 後期
【科目目標】 看護場面に必要な日常英会話とファーストコンタクトに必要な医療英語を学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	Introduction and class outline	講義
2	Classroom English	講義
3	Asking about the patient's background	講義、演習
4	Major internal and external body parts	講義、演習
5	Medical English terms, conditions, diseases, etc	講義、演習
6	Hospital food and asking about dietary needs	講義、演習
7	Preoperative testing	講義、演習
8	Operation	講義、演習
9	Explaining medication	講義、演習
10	Counting; things, floors,...	講義、演習
11	Time, dates, and appointments	講義、演習
12	Giving directions	講義、演習
13	Medical consultation	講義、演習
14	Revision	講義、演習
15	Final exam	シミュレーションテスト
【教科書】 特に指定しません。		
【参考書】		
【使用予定視聴覚機材】 特になし。		
【評価方法】 ・授業中のミニテスト ・英語劇(シミュレーション)での表現		
以上から総合的に評価します。合計100点		

授業科目：健康とレクリエーション	講師名： 坂口 昇	1 単位 30 時間 履修時期	3年生通年
【科目目標】 レクリエーションを通して、健康な生活を維持していくこと、レクリエーションを運動生理学や健康心理学の側面から学び、学生自身が看護につなげる意義を明確にする。			
回数	講義内容	学習方法	
1	体づくり運動とは(1回2時間15分)	講義・実技	
2	ボールを使った体ほぐし運動	実技	
3	レクリエーション(講師企画)	実技	
4	レクリエーション(ポールウォーキング)	実技	
5	グループ編成し、レクリエーションの目的別企画(グループワーク)	グループ企画	
6	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
7	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
8	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
9	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
10	レクリエーションの意義	発表まとめ	
*実技は、宝塚市立スポーツセンターで実施します。			
【教科書】 特に指定しません。			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 使用しません。			
【評価方法】 授業への参加状況から評価 合計100点			

授業科目：健康とレクリエーション	講師名： 坂口 昇	1 単位 30 時間 履修時期	2年生通年
【科目目標】 レクリエーションを通して、健康な生活を維持していくこと、レクリエーションを運動生理学や健康心理学の側面から学び、学生自身が看護につなげる意義を明確にする。			
回数	講義内容	学習方法	
1	体づくり運動とは(1回2時間15分)	講義・実技	
2	ボールを使った体ほぐし運動	実技	
3	レクリエーション(講師企画)	実技	
4	レクリエーション(ポールウォーキング)	実技	
5	グループ編成し、レクリエーションの目的別企画(グループワーク)	グループ企画	
6	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
7	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
8	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
9	レクリエーション(ニュースポーツ)のグループ主催(全員に対し実施)	実技	
10	レクリエーションの意義	発表まとめ	
*実技は、宝塚市立スポーツセンターで実施します。			
【教科書】 特に指定しません。			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 使用しません。			
【評価方法】 授業への参加状況から評価 合計100点			

授業科目：宝塚学 I ★	講師名：江里口 晃世 島田 亜子 看護師	2 単位 30 時間 履修時期	1 年生 通年
【科目目標】 地域を知り、地域看護の視点を持ち看護学校の役割である地域の健康に貢献するとともに情報を発信する力を身につける。			
回数	義内容	学習方法	
1	地域を知ること ボランティアとは	講義・GW	
2	宝塚について知る	講義・GW	
3	基礎知識(歴史・地理・産業・観光)		
4	ボランティア活動の計画		
5	「宝塚を知ろう」プロジェクト始動・計画	GW	
6			
7	ボランティア活動の実際と共有	GW 講義	
8	「宝塚を知ろう」プロジェクト プレゼン準備	GW	
9			
10	ボランティア活動の実際 まとめ	講義・終講試験	
11	「宝塚市を知ろう」プロジェクト 学内発表 プレゼン準備	プレゼンテーション	
12		GW	
13			
14	「宝塚を知ろう」プロジェクト 兵庫県下の看護学生との交流会	プレゼンテーション	
15			
【教科書】 必要時資料配布 系統看護学講座 地域・在宅看護論Ⅰ 地域・在宅看護の基盤 医学書院			
【参考書】 宝塚市文化財団編 宝塚まちかど学新版			
【使用予定視聴覚機材】 PC・プロジェクター・DVD			
【評価方法】 小テスト・プレゼンテーション・ボランティア活動実施報告および報告書を評価対象とする。 合計100点			